

Newsletter

EPA だより～きずな～

VOL.8

FROM AOTS

2025年11月17日

今回のニュースレターでは、東京ビッグサイトで開催された「国際福祉機器展(H.C.R. 2025)」と、AOTS東京研修センター(TKC)が、平日の夜に近隣の小学校の体育館をお借りして開催している**バドミントンの会**について、TKCの候補者がレポートします。福祉機器展の見学は、会場で見聞きしたことをポスターにまとめて発表する等、介護分野の日本語学習と連動した活動として位置付けています。

国際福祉機器展の見学で感じた介護の未来



10月10日、私たちは東京で開かれた最新の介護機器の展示会、国際福祉機器展に行ってきました。多くの新しい機械や道具を見ることができ、とても勉強になりました。



展示されていた機器は、介護の仕事を楽しむだけでなく、利用者さんにとっても、安全と安心につながるものでした。

この見学を通して、介護の分野での技術の大切さを改めて感じました。これからも、こうした技術がもっと発展し、私たちの国でも使えるようになればいいと思います。

福祉機器展はどうでしたか？

Eクラス マリサ



高齢者や体が不自由な人を助けるための技術がとても大切だと感じました。このような機械は、介護や高齢者の世話の分野でとても役に立ちます。人の力だけに頼らずに、椅子からベッドやトイレへの移動を楽にすることができます。福祉の分野での技術の進歩をもっと知りたいと思いました。

Dクラス ラヘル



この機械は、利用者さんをお風呂に移すときにとても便利だと思います。介護をする人の体の負担も少なくなります。これからも、利用者さんと介護者のために優しい機械が増えるといいです。

みんなで汗を流そう！TKCのスポーツ行事

TKCでは2週間に1度、在館者がみんなでバドミントンを楽しむ時間があります。その場で初めて会う人もいますが、試合が始まるとすぐに笑顔と応援の声でいっぱいになります。

バドミントンは、体を動かすだけでなく、チームワークやコミュニケーションを深める良い機会にもなります。汗をかきながら、楽しくリフレッシュできる時間です。



このような活動を通して、勉強だけでなく、健康づくりや仲間とのつながりの大切さを感じます。次のバドミントンの会も、みんなで元気に参加したいと思います！

Aクラス スチ



みんなで国際福祉機器展に行って、とてもいい経験になりました。いろいろな介護ロボットや便利な機械を見ることができて、とても勉強になりました。ポスターを作るときは、チームで協力して、楽しく活動しました。

<AOTSより>

訪日後研修も残すところあと1カ月となりました。候補者は12月の日本語の最終試験に向け、学習にさらに力を入れると同時に、就労先への転出準備にも徐々にとりかかっています。転出に際しての受入施設へのお願い等はAOTS東京/大阪の各センターより別途ご案内しますので、ご協力をお願いいたします！